

経営比較分析表（令和4年度決算）

岩手県 平泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	46.06	73.56	4,884	

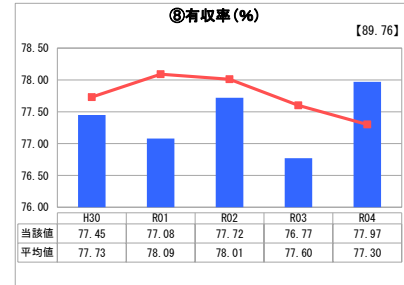
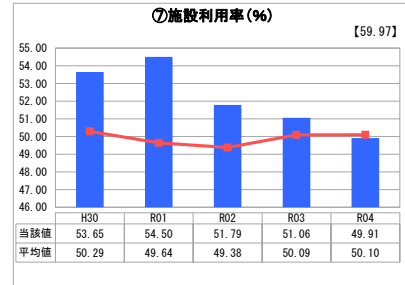
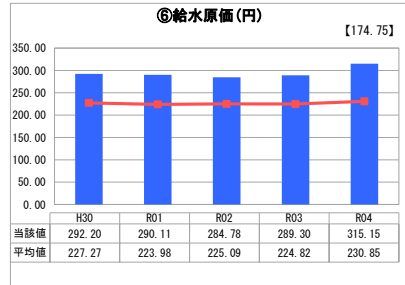
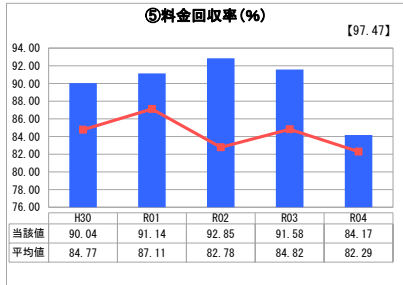
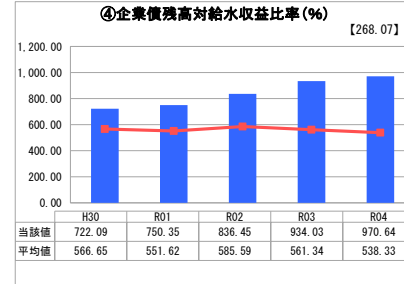
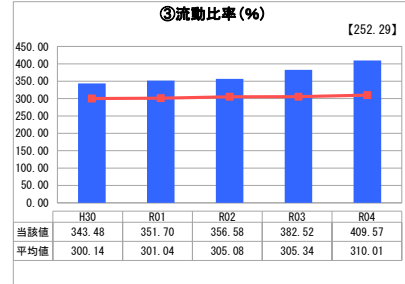
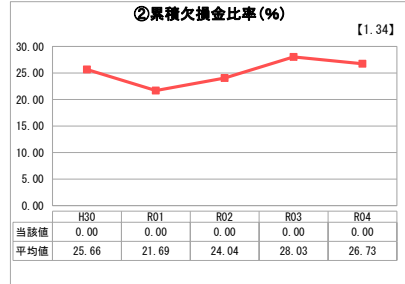
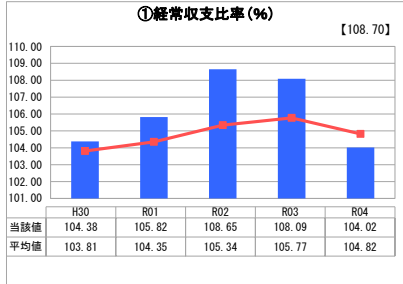
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,010	63.39	110.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,490	27.43	273.06

グラフ凡例

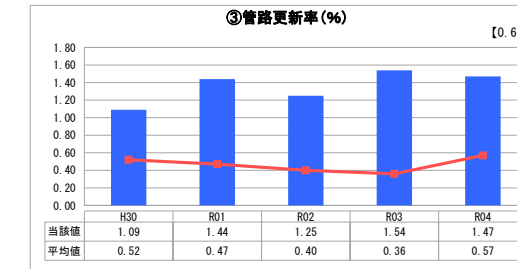
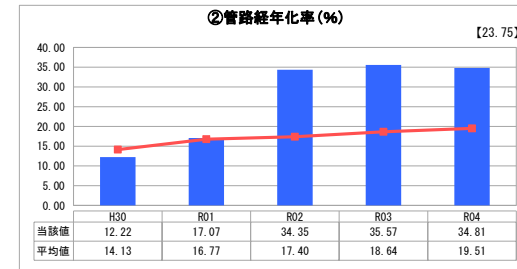
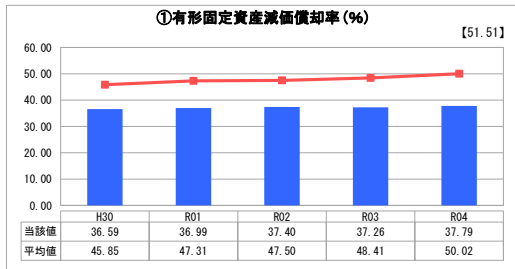
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

※平成30年度から簡易水道事業特別会計と会計統合しています。

① 経常収支比率：給水収益等による収入で水道を運営するために必要な費用は、単年度収支で黒字となっています。

② 累積欠損金比率：単年度収支は黒字であり、累積欠損金はありません。

③ 流動比率：1年以内に支払うべき債務に対して支払に充てるための現金預金は不足していません。

④ 企業債残高対給水収益比率：建設改良工事費用の財源のほとんどを企業債の借入で賄っているため、類似団体の平均値より高くなっています。企業債の償還計画を立て事業を実施しています。

⑤ 料金回収率：料金回収率が下落し、給水に係る費用を現在の給水収益では賄えない状況です。料金改定等を検討しなければならぬ段階に入っております。

⑥ 給水原価：給水人口及び観光客等の交流人口の減少により有収水量が減少しているため、給水原価は微増しています。

⑦ 施設利用率：観光客等の影響を受けやすい上水道区域の使用水量がコロナ前の水準まで伸びず、類似団体の平均値を僅かに下回っています。なお、年間の最大配水量での施設利用率は約67.83%です。

⑧ 有収率：昨年度より微増です。漏水調査や夜間の流量測定及び計画的な管路更新を実施し、有収率の向上に取り組めます。

2. 老朽化の状況について

・ 当町の水道事業における拡張事業は完了しており、今後は老朽化する施設の更新等を計画、実施していきます。

① 有形固定資産減価償却率：昨年度とほぼ横ばいですが、簡易水道区域の供用開始が上水道区域より遅いためです。

② 管路経年化率：昨年度より微減です。上水道区域の経年化した管路が減少しています。

③ 管路更新率：管路更新は建設計画に基づき実施していますが、老朽管を一度に更新することは財政的に難しいため、布設替えまでは修繕で対応しています。

全体総括

・ 水道は生活に不可欠で重要なライフラインであり、引き続き健全な経営の維持に努めます。

・ 電気料金を含めた物価上昇の影響により、経営状況の悪化が懸念されることから、より一層の効率経営に努めるとともに、料金改定を含めた収益性向上・財源確保の見直しを検討していきます。

・ 老朽化する施設の更新や施設の耐震化等の建設事業を計画的に実施していきます。